

高校入試過去問(名古屋高校) (H26)年数学

100点満点(50)分

1.

(1) $-3x^2y \div \left(-\frac{1}{3}xy\right)^2 \times \frac{1}{3}y^3$ を計算せよ。

(2) $(a-b)x^2 - (a-b)y^2$ を因数分解せよ。

(3) 連立方程式 $\begin{cases} 2(x+y) + 5(x-y) = 18 \\ 4(x+y) - (x-y) = 58 \end{cases}$ を解け。

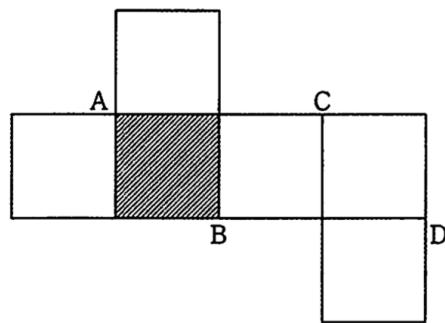
(4) 方程式 $(x-3)(x+4) = 2(x-3)^2$ を解け。

(5) 関数 $y=ax^2$ の $-3 \leq x \leq -1$ における y の変域は $b \leq y \leq 6$ であった。
定数 a, b の値を求めよ。

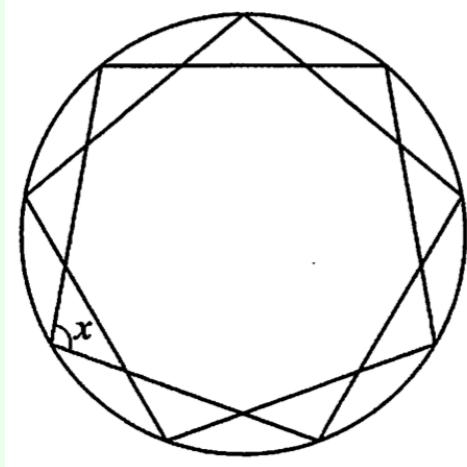
(6) 63 に偶数をかけて、自然数の2乗になるようにしたい。このような偶数のうち、最も小さいものを求めよ。

(7) 立方体の展開図に図のように点 A, B, C, D をとる。この展開図を組み立てたとき、斜線部の平面と直線 CD はどのような位置関係にあるか。次の選択肢から 1 つ選んで、記号で答えよ。

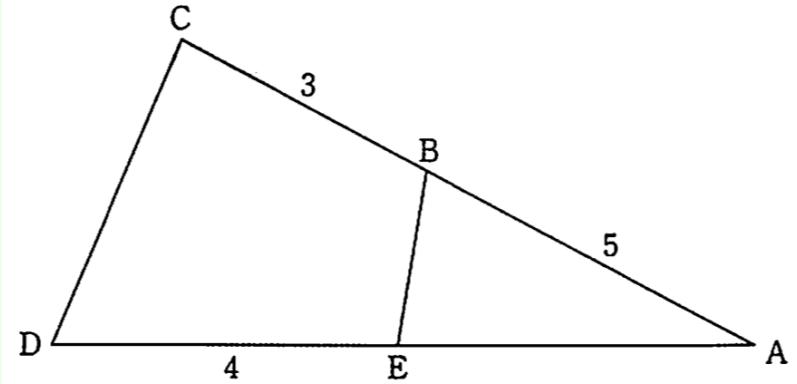
- ① 直線が平面上にある
- ② 交わる
- ③ 平行である
- ④ ねじれの位置にある



(8) 円周を 9 等分した点をつないで次のような図形をかいた。 $\angle x$ の大きさを求めよ。



(9) $AB=5$, $BC=3$, $DE=4$ のとき, AE の長さを求めよ。ただし, $\angle AEB = \angle ACD$ とする。

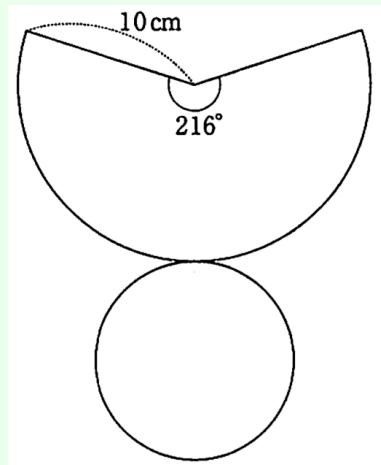


(10) ある部品を作っている工場がある。できあがった 500 個の部品について検査したら 8 個の不良品が見つかった。この工場で 6 万個の部品を製造したとき、不良品はおよそ何個含まれると推定されるか。

2.

図のように、母線の長さが 10cm、中心角が 216° の円すいの展開図がある。
このとき、次の問いに答えよ。

- (1) この円すいの底面の円周の長さを求めよ。
- (2) この円すいの体積を求めよ。



3.

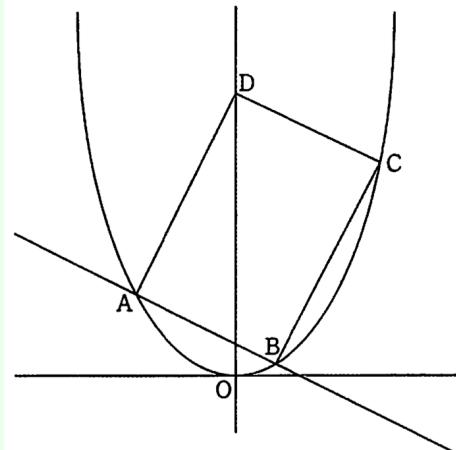
1つのさいころを3回投げて出た目の数を出た順に a , b , c とするとき、次の問いに答えよ。

- (1) $a=b<c$ となる場合は何通りあるか。
- (2) $a<b< c$ となる確率を求めよ。

4.

図のように、放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ と直線 $y = -\frac{1}{2}x + 1$ が 2 点 A, B で交わっている。この放物線上に点 C を、 y 軸上に点 D をとり、平行四辺形 ABCD を作る。ただし、点 A の x 座標は負とする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 点 B の座標を求めよ。
- (2) 点 C の座標を求めよ。
- (3) 原点を通る直線で、平行四辺形 ABCD の面積を 2 等分するものの式を求めよ。



5.

鋭角三角形 ABC について、 $AC=5$ 、 $BC=6$ であり、面積は 9 であった。点 A から直線 BC に沿した垂線の足を H とする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) AH の長さを求めよ。
- (2) AB の長さを求めよ。
- (3) 三角形 ABC の外接円の直径を求めよ。

高校入試過去問(名古屋高校) (H26)年数学

100点満点(50)分

1.

(1) $-3x^2y \div \left(-\frac{1}{3}xy\right)^2 \times \frac{1}{3}y^3$ を計算せよ。

$$\begin{aligned} &= -3x^2y \div \frac{x^2y^2}{9} \times \frac{y^3}{3} \\ &= -3x^2y \times \frac{9}{x^2y^2} \times \frac{y^3}{3} = \underline{\underline{-9y^2}} \end{aligned}$$

(2) $(a-b)x^2 - (a-b)y^2$ を因数分解せよ。

$$\begin{aligned} a-b &= M \text{ とおくと} \\ Mx^2 - My^2 & \\ = M(x^2 - y^2) & \\ = M(x+y)(x-y) & \\ = (a-b)(x+y)(x-y) & \end{aligned}$$



置きかえず いきなり
 $(a-b)(x^2-y^2)$
 $= (a-b)(x+y)(x-y)$
 で 完成させた!!

(3) 連立方程式 $\begin{cases} 2(x+y) + 5(x-y) = 18 \\ 4(x+y) - (x-y) = 58 \end{cases}$ を解け。

$$\begin{cases} x+y = A, \quad x-y = B \text{ とおくと}, \\ \begin{cases} 2A + 5B = 18 \dots ① \\ 4A - B = 58 \dots ② \end{cases} \end{cases}$$

$$\begin{aligned} ① \times 2 - ② \\ 4A + 10B = 36 \\ -) 4A - B = 58 \\ \hline 11B = 94 \\ B = \frac{94}{11} \end{aligned}$$

この流れは やバい…。
離脱します。

$$\begin{aligned} 2x + 2y + 5x - 5y &= 18 \\ 4x + 4y - x + y &= 58 \end{aligned}$$

$$\begin{cases} 7x - 3y = 18 \dots ① \\ 3x + 5y = 58 \dots ② \end{cases}$$

$$① \times 5 + ② \times 3$$

$$\begin{aligned} &\begin{cases} 35x - 15y = 90 \\ 9x + 15y = 174 \end{cases} \\ &\hline 44x = 264 \\ &x = 6 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} 18 + 5y &= 58 \\ y &= 8 \end{aligned}$$

$$(x, y) = (6, 8)$$

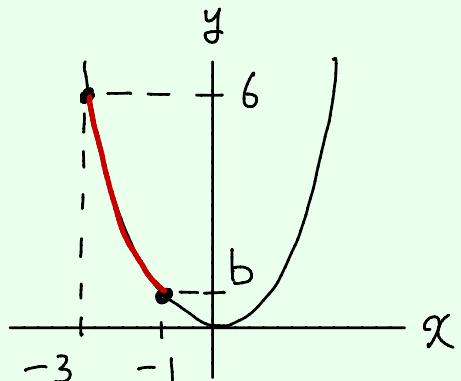


置きかえが 効果的でない例 ですな。

(4) 方程式 $(x-3)(x+4)=2(x-3)^2$ を解け。

$$\begin{array}{l|l} x-3=0 \text{ または}, & M^2-7M=0 \\ M(M+7)=2M^2 & M(M-7)=0 \\ M^2+7M=2M^2 & (x-3)(x-10)=0 \end{array} \quad \therefore \underline{\underline{x=3, 10}}$$

(5) 関数 $y=ax^2$ の $-3 \leq x \leq -1$ における y の変域は $b \leq y \leq 6$ であった。
定数 a, b の値を求めよ。



① 左図より $y=ax^2$ は $(-3, 6)$ を通る
ので $x=-3, y=6$ を代入して

$$6 = a \times (-3)^2 \quad a = \frac{2}{3}$$

② $y=\frac{2}{3}x^2$ に $x=-1$ を代入し

$$y = \frac{2}{3} \times (-1)^2 = \frac{2}{3} \quad \therefore b = \frac{2}{3}$$



x がいくつのとき、 y の最大値、
最小値がいくつをとるかを見つける。

(6) 63に偶数をかけて、自然数の2乗になるようにしたい。このような偶数のうち、最も小さいものを求めよ。

① 素因数分解すると、 $63 = 3^2 \times 7$

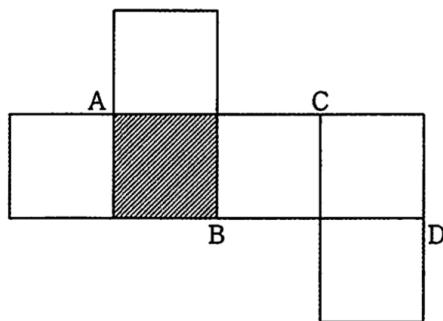
② 問題文より、 $3^2 \times 7 \times \boxed{\text{偶数}} = \text{自然数}^2$ となる偶数を見つける。

7が1つ(少なく、偶数の最も小さい2乗の値は4のため、

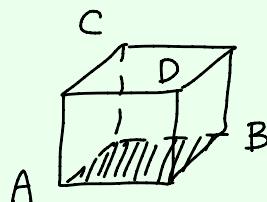
$$\boxed{\text{偶数}} = 7 \times 2^2 = 28 \text{ となる}.$$

(7) 立方体の展開図に図のように点 A, B, C, D をとる。この展開図を組み立てたとき、斜線部の平面と直線 CD はどのような位置関係にあるか。次の選択肢から 1 つ選んで、記号で答えよ。

- ① 直線が平面上にある
- ② 交わる
- ③ 平行である
- ④ ねじれの位置にある



斜線部の平面と底面にすると、真上に CD を含む平面がくるので ③ の平行である。



(8) 円周を 9 等分した点をつないで次のような图形をかいた。 $\angle x$ の大きさを求めよ。

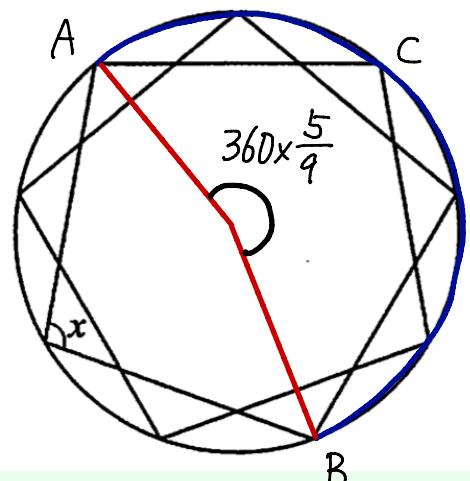
- Ⓐ $\angle x$ は点 C を含む側の \widehat{AB} の円周角であり、9等分したうちの 5つの長さから生まれている。

$$\text{Ⓐ 中心角} = 360^\circ \times \frac{5}{9} = 200^\circ$$

$$\therefore \text{円周角 } \angle x = 200^\circ \times \frac{1}{2}$$

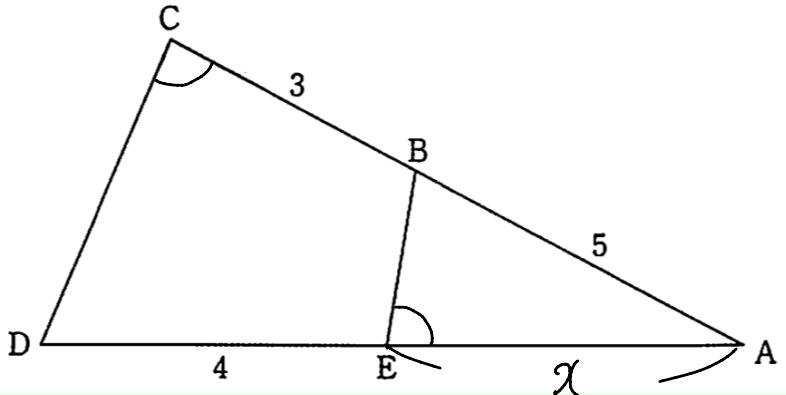
$$= 100^\circ$$

//



(9) $AB=5$, $BC=3$, $DE=4$ のとき, AE の長さを求めよ。ただし, $\angle AEB = \angle ACD$ とする。

① $AE=x$ とする。
 $\angle A$ が $\triangle CDA$ と
 $\triangle EBA$ で “共通”
あり, $\angle AEB =$
 $\angle ACD$ より
 $\triangle CDA \sim \triangle EBA$ 。



② 相似な三角形では、文 扱いする辺の長さの比が全等の式

$$\begin{aligned} & \text{if: } x = 4+x : 5 \\ & x(4+x) = 40 \\ & x^2 + 4x - 40 = 0 \\ & x = -2 + \sqrt{21} \end{aligned}$$



文字が入ってると、式が作りづらいので
相似な2つの図を切り出して
向きを考えるとわかりやすい。

(10) ある部品を作っている工場がある。できあがった 500 個の部品について検査したら 8 個の不良品が見つかった。この工場で 6 万個の部品を製造したとき、不良品はおよそ何個含まれると推定されるか。

推定される不良品を x 個とすると、

$$500 : 8 = 60000 : x$$

~~$$500x = 480000$$~~

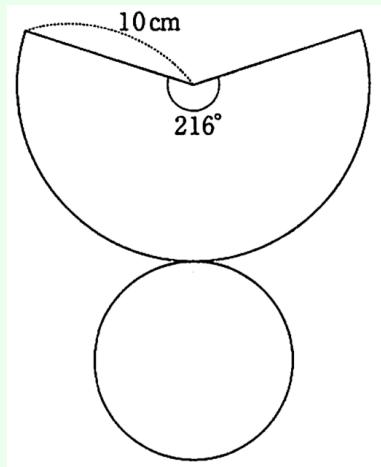
~~$$x = 960$$~~

およそ 960 個と推定される。

2.

図のように、母線の長さが 10cm、中心角が 216° の円すいの展開図がある。
このとき、次の問いに答えよ。

- (1) この円すいの底面の円周の長さを求めよ。
- (2) この円すいの体積を求めよ。



(1) 円錐の底面の円周の長さ

$$= \text{おうぎ形の弧の長さ}$$

$$= 10 \times 2 \times \pi \times \frac{216}{360}$$

$$= 12\pi \text{ (cm)} \quad //$$

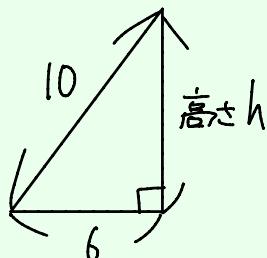
(V)

(2) 円錐の体積 = 底面積 × 高さ × $\frac{1}{3}$ で求まるので

① (1) = $2 \times \pi \times \text{底面の半径}$

$$12\pi = 2\pi r \quad r = 6 \quad \text{半径 } 6 \text{ cm} \quad //$$

②



$$\begin{aligned} h &= \sqrt{10^2 - 6^2} \\ &= \sqrt{64} = 8 \end{aligned}$$

③ $V = \pi \times 6^2 \times 8 \times \frac{1}{3}$
 $= 96\pi \text{ (cm}^3\text{)} \quad //$

3.

1つのさいころを3回投げて出た目の数を出た順に a , b , c とするとき、次の問いに答えよ。

- (1) $a=b<c$ となる場合は何通りあるか。
- (2) $a<b<c$ となる確率を求めよ。

(1) $a \ b \ c$

$$\begin{array}{c} 1 \\ | \\ 1 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 2 \\ | \\ 3 \\ 4 \\ 5 \\ 6 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 2 \\ | \\ 2 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 3 \\ | \\ 4 \\ 5 \\ 6 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 3 \\ | \\ 3 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 4 \\ | \\ 5 \\ 6 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 15 \text{ 通り} \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 4 \\ | \\ 4 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 5 \\ | \\ 5 \\ 6 \end{array}$$
(2) a, b, c の出目は、 $6 \times 6 \times 6 = 216$ 通り

「かけ算で求める流れ」

$$\left(\begin{array}{c} 1 \\ | \\ 1 \end{array} \right. \begin{array}{c} < \\ 2 \\ 3 \\ 4 \\ 5 \\ 6 \end{array} \left. \begin{array}{c} 1 \\ | \\ 2 \\ 3 \\ 4 \\ 5 \\ 6 \end{array} \right)$$

6通り

b 1つにつき C は 6通り

b は 1~6 までの 6 通り

このかたまりが a 1~6 あるので
 $6 \times 6 \times 6$ で始まる。

$a < b < c$

$$\begin{array}{c} 1 \\ | \\ 2 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 3 \\ | \\ 3 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 4 \\ | \\ 4 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 5 \\ | \\ 5 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 6 \\ | \\ 6 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 2 \\ | \\ 3 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 4 \\ | \\ 4 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 5 \\ | \\ 5 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 6 \\ | \\ 6 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 3 \\ | \\ 4 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} 5 \\ | \\ 5 \\ 6 \end{array}$$

4-5-6

以上 20通り

$$\therefore \frac{20}{216} = \frac{5}{54}$$

4.

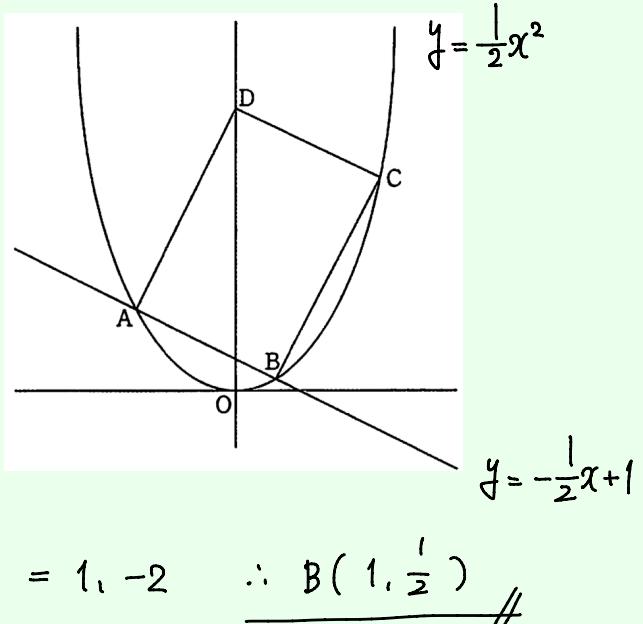
図のように、放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ と直線 $y = -\frac{1}{2}x + 1$ が 2 点 A, B で交わっている。この放物線上に点 C を、y 軸上に点 D をとり、平行四辺形 ABCD を作る。ただし、点 A の x 座標は負とする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 点 B の座標を求めよ。
- (2) 点 C の座標を求めよ。
- (3) 原点を通る直線で、平行四辺形 ABCD の面積を 2 等分するものの式を求めよ。

(1) B は $y = \frac{1}{2}x^2$ と $y = -\frac{1}{2}x + 1$ の交点。

$$\begin{cases} y = \frac{1}{2}x^2 \\ y = -\frac{1}{2}x + 1 \end{cases} \quad \frac{1}{2}x^2 = -\frac{1}{2}x + 1 \\ x^2 + x - 2 = 0$$

$$(x+2)(x-1) = 0 \rightarrow x = 1, -2 \quad \therefore B(1, \frac{1}{2}) //$$



(2) A(-2, 2), B(1, 1/2) より D(0, t) となると, C(3, t - 3/2)

C は $y = \frac{1}{2}x^2$ を満たすので $x=3$, $y=t-\frac{3}{2}$ を代入できる。

$$t - \frac{3}{2} = \frac{1}{2} \times 3^2, \quad t = \frac{9}{2} + \frac{3}{2} = 6 \quad \therefore C(3, \frac{9}{2}) //$$

(3) 対角線の交点を通ると、平行四辺形の面積を二等分できる。

$$AC: (-2, 2)(3, \frac{9}{2}) \text{ より } y = \frac{1}{2}x + 3$$

$$BD: (1, \frac{1}{2})(0, 6) \text{ より } y = -\frac{11}{2}x + 6$$

この 2 直線の交点を求める。

$$\begin{cases} y = \frac{1}{2}x + 3 \\ y = -\frac{11}{2}x + 6 \end{cases} \quad (x, y) = (\frac{1}{2}, \frac{13}{4}) \quad \text{と原点を通る直線が答。}$$

$$\text{傾き} = \frac{\frac{13}{4}}{\frac{1}{2}} = \frac{13}{2} \quad \therefore y = \frac{13}{2}x //$$

5.

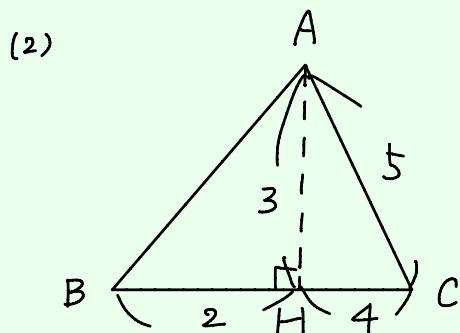
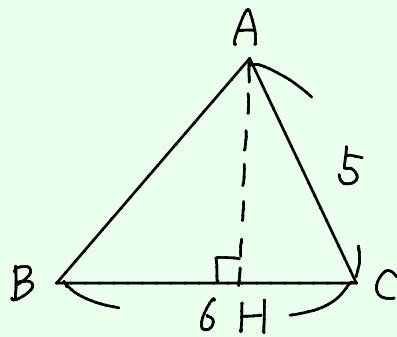
鋭角三角形 ABC について、AC=5, BC=6であり、面積は9であった。点 A から直線 BC に下した垂線の足を H とする。このとき、次の問に答えよ。

- (1) AH の長さを求めよ。
- (2) AB の長さを求めよ。
- (3) 三角形 ABC の外接円の直径を求めよ。

$$(1) \Delta ABC = BC \times AH \times \frac{1}{2}$$

$$9 = 6 \times AH \times \frac{1}{2}$$

$$\underline{\underline{AH = 3}}$$



$$\triangle AHC \text{ で } \triangle \text{ 平方の定理より}$$

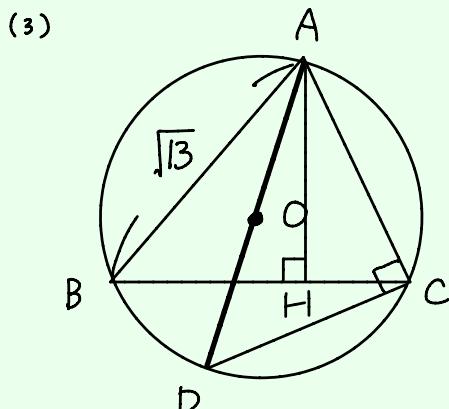
$$HC = \sqrt{AC^2 - AH^2} = \sqrt{5^2 - 3^2} = 4$$

$$\begin{aligned} BH &= BC - HC \\ &= 6 - 4 = 2 \end{aligned}$$

$\triangle ABH$ も同様に

$$AB = \sqrt{BH^2 + AH^2} = \sqrt{2^2 + 3^2} = \sqrt{13}$$

$$\underline{\underline{\quad}}$$



外接円の中心 O と A の延長線と
外接円との交点 E と D とすると、

$$\begin{aligned} \triangle ABH &\sim \triangle ADC \\ (\angle AHB &= \angle ADC) \\ (\angle AHB &= \angle ACD) \end{aligned}$$

$$AB : \text{直径 } AD = AH : AC$$

$$\sqrt{13} : AD = 3 : 5$$

$$3AD = 5\sqrt{13}$$

$$AD = \frac{5\sqrt{13}}{3}$$

$\underline{\underline{\quad}}$